

平成26年7月23日
第31次地方制度調査会
専門小委員会

八王子市の人口減少の 現状と課題について

八王子市長 石森孝志



八王子市の概要



- 東京都の南西部、都心から約40km
- 人口 58万人、25万世帯
- 面積 186.31平方キロメートル
- 施行 大正6年(1917年)9月1日

平成27年4月に中核市へ移行
平成29年に市制100周年を迎える

八王子市の特徴

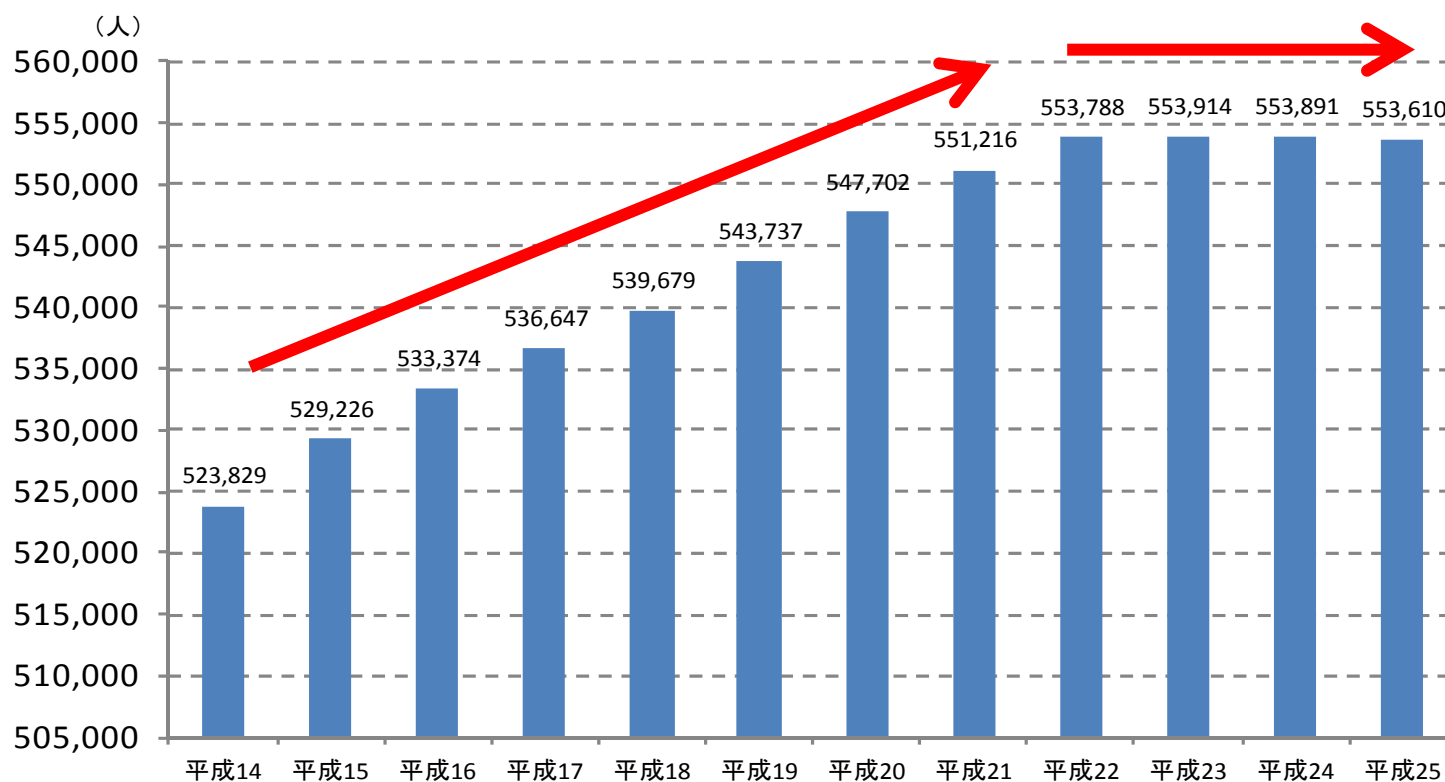
- 豊かな自然に恵まれた都市
高尾山(年間300万人、ミシュラン・三ツ星観光地)
- 学園都市
市内21大学(学生11万人)
- 歴史と伝統
八王子城跡(日本の百名城)
八王子車人形・獅子舞
八王子まつりなど
- 多摩地域の産業・経済の中心
古くは織物のまち
ものづくり産業2000社



八王子車人形

八王子市の人口（平成14～25年度）

- ・平成22年度までは増加していたが、平成23年度以降は横ばい

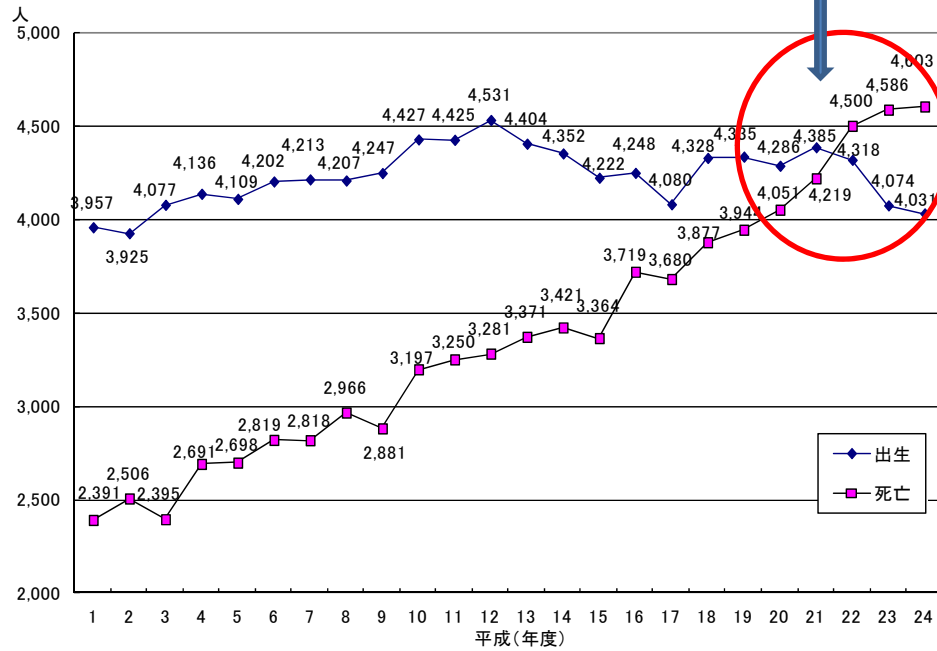


※住民基本台帳（各年度3月末現在）。ただし、平成25年度は「26年2月末現在」（年度）

八王子市の人口動態

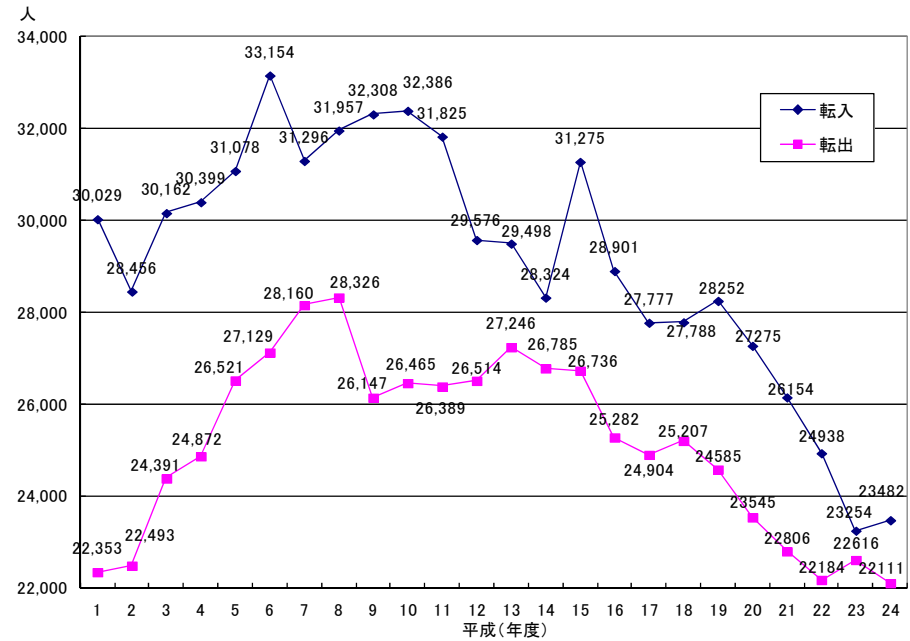
《出生者数と死亡者数の推移》 (自然動態)

死亡者数が出生者数を上回っている
⇒ 自然減へ



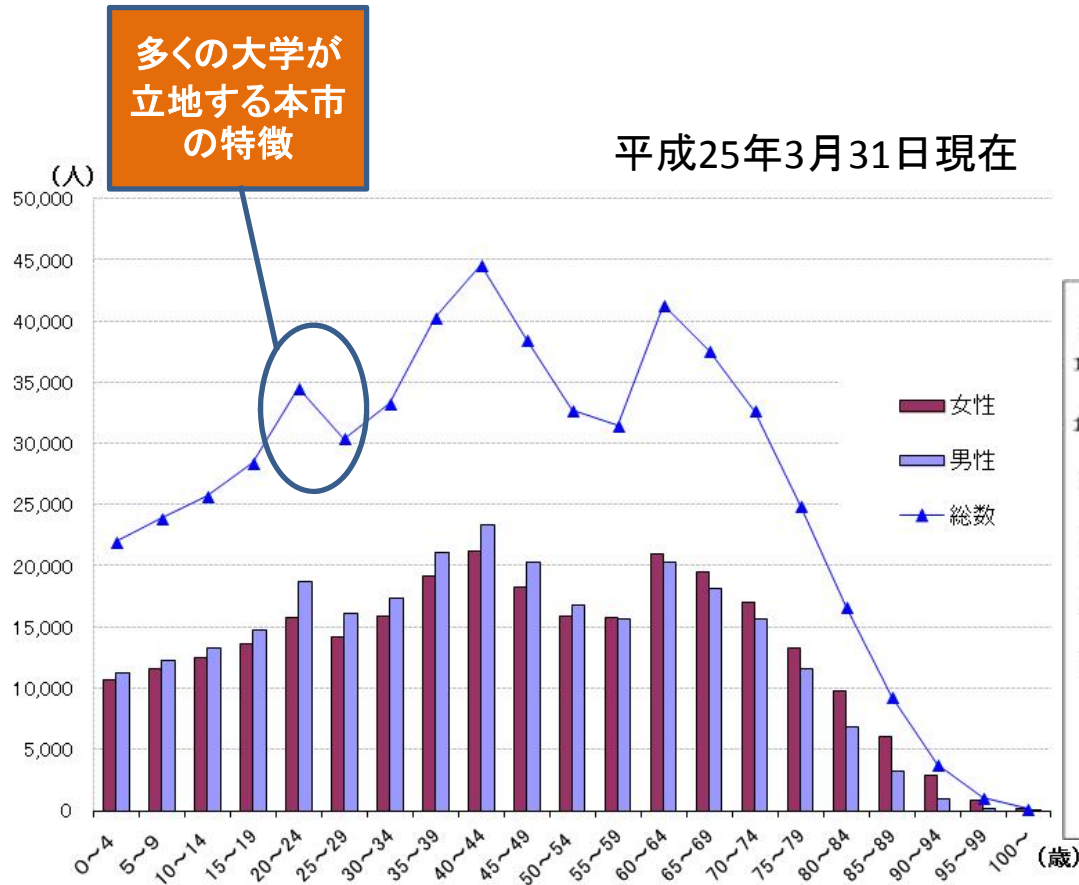
《転入者数と転出者数の推移》 (社会動態)

転入者数が転出者数を上回っている
⇒ その差は年々なくなっている



各年度3月末現在

八王子市の年齢構成



出所: 住民基本台帳による東京都の世帯と人口

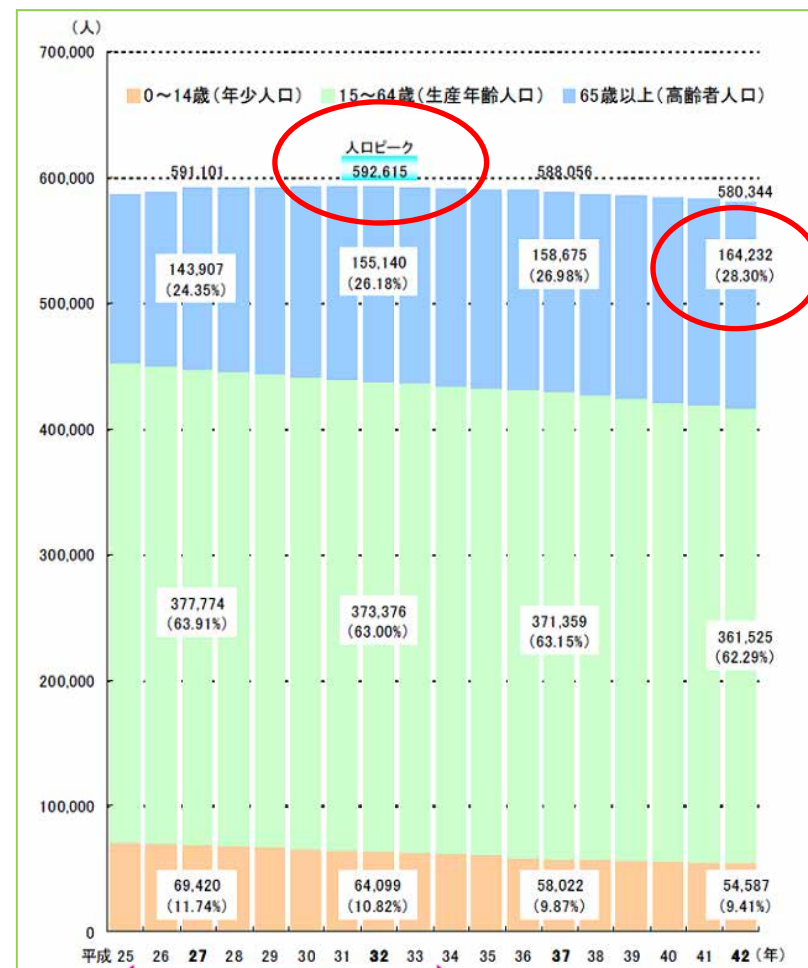
出所: 住民基本台帳

八王子市の人口の推移

八王子市の基本構想・基本計画
(計画期間: H25年度～H34年度)
では、平成32年に人口のピークを
迎え、それ以降は人口が減少する
と推計している。

八王子市の高齢化率 23.54%

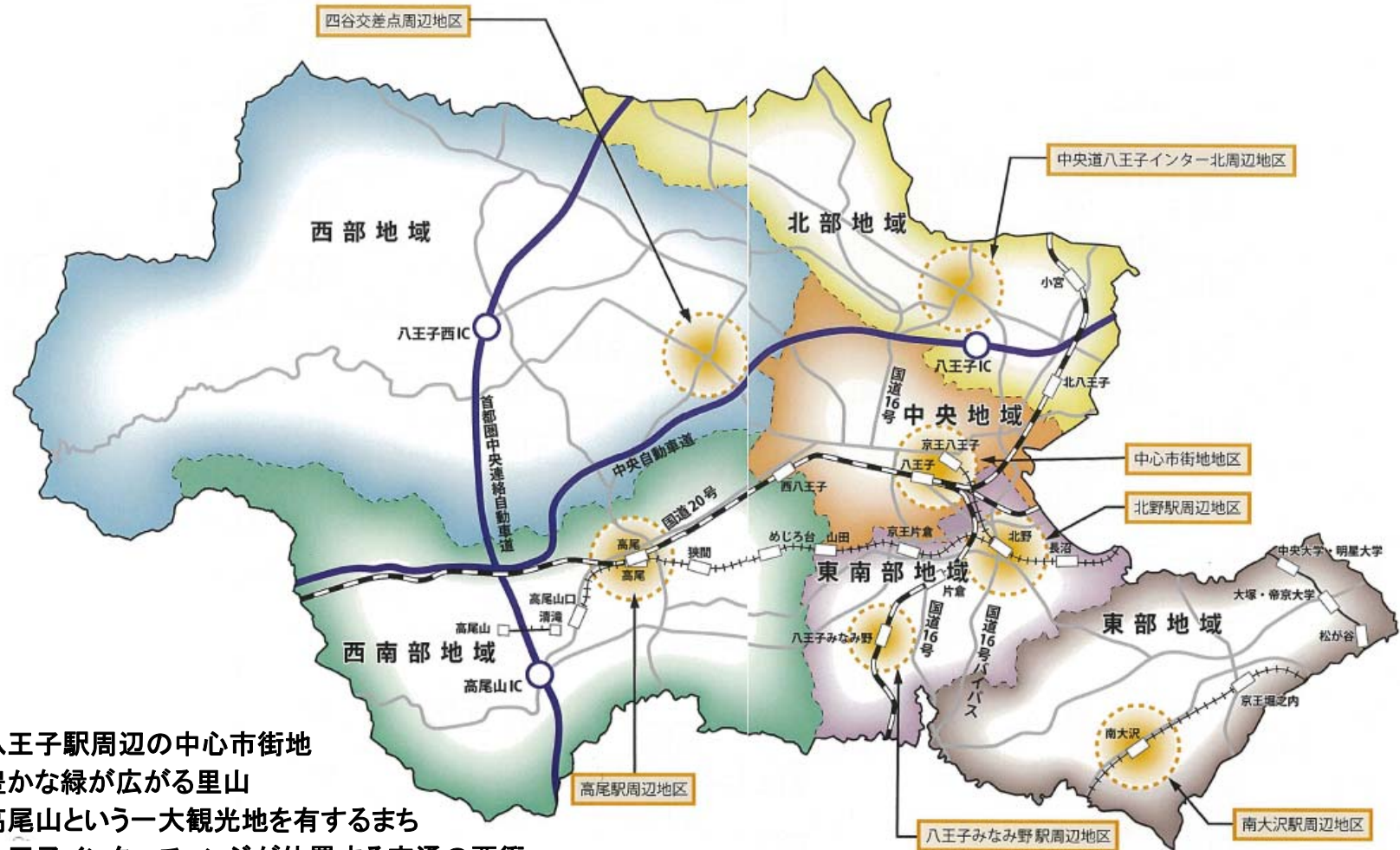
(平成26年4月1日)



年齢3区分別人口推移(平成22年国勢調査)

八王子市の6地域区分

本市の基本構想・基本計画で
位置付けられた地域区分



- 中央地域： 八王子駅周辺の中心市街地
- 西部地域： 豊かな緑が広がる里山
- 西南部地域： 高尾山という一大観光地を有するまち
- 北部地域： 八王子インターチェンジが位置する交通の要衝
- 東南部地域： 八王子ニュータウンに代表される住宅地
- 東部地域： 学園都市と多摩ニュータウンの2つの顔を持つまち

八王子市の6地域の人口構成 (年齢3区分)

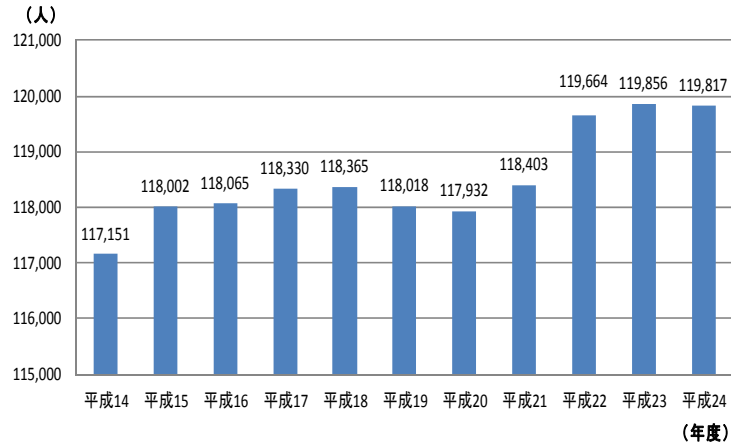
平成25年3月31日現在
(単位:人)

地区名	0～14歳	15～64歳	65歳～	計	人口動態の傾向	
中央地域	12,893 (10.8%)	79,060 (66.0%)	27,864 (23.2%)	119,817	平成22年度に急増し、その後横ばいで推移	→
西部地域	12,502 (12.7%)	59,441 (60.3%)	26,563 (27.0%)	98,506	平成21年度をピークに減少傾向	↘
西南部地域	12,139 (12.1%)	61,589 (61.6%)	26,248 (26.3%)	99,976	平成17年度をピークに少しずつ減少	↘
北部地域	6,200 (13.2%)	30,452 (64.8%)	10,306 (22.0%)	46,958	平成22年度まで増加した後、横ばい	→
東南部地域	11,579 (14.5%)	50,604 (63.5%)	17,552 (22.0%)	79,735	平成14年度からの10年間で人口が急増	↗
東部地域	16,400 (15.1%)	74,705 (68.6%)	17,794 (16.3%)	108,899	平成22年度までは毎年増加し、その後横ばい	→

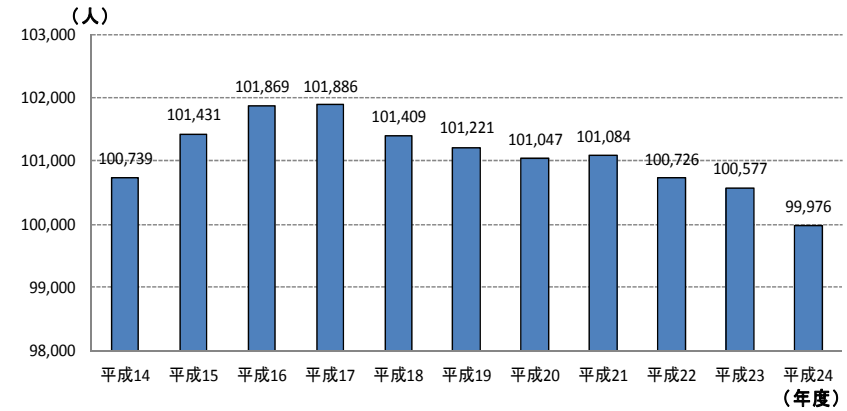
出所:住民基本台帳

各地域の人口推移①

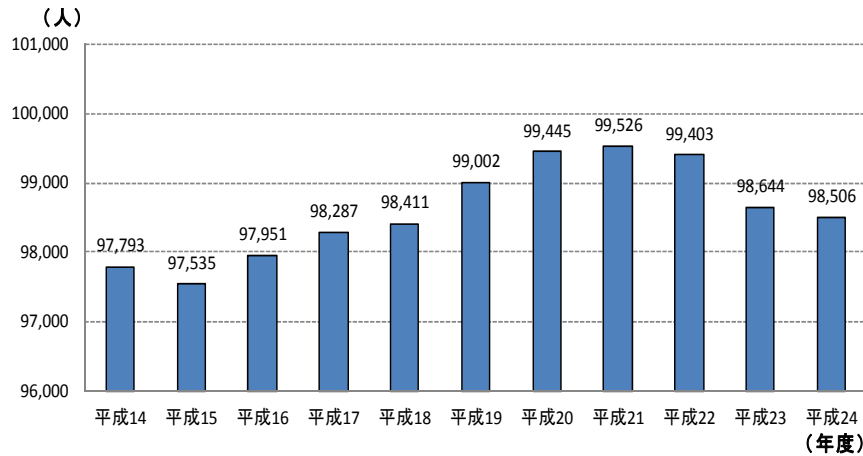
中央地域



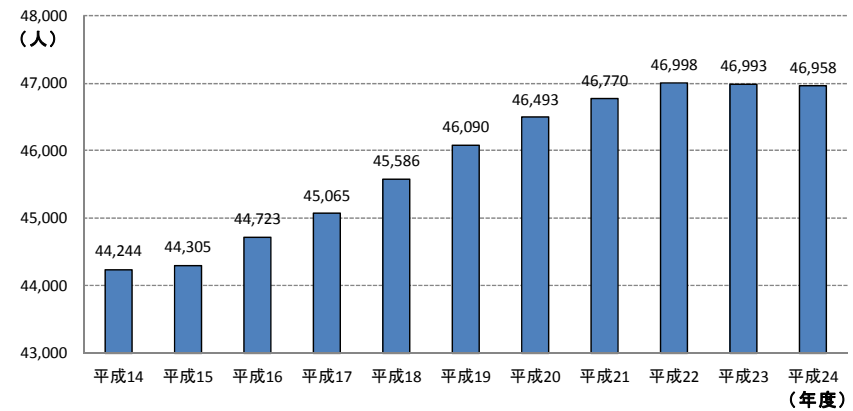
西南部地域



西部地域

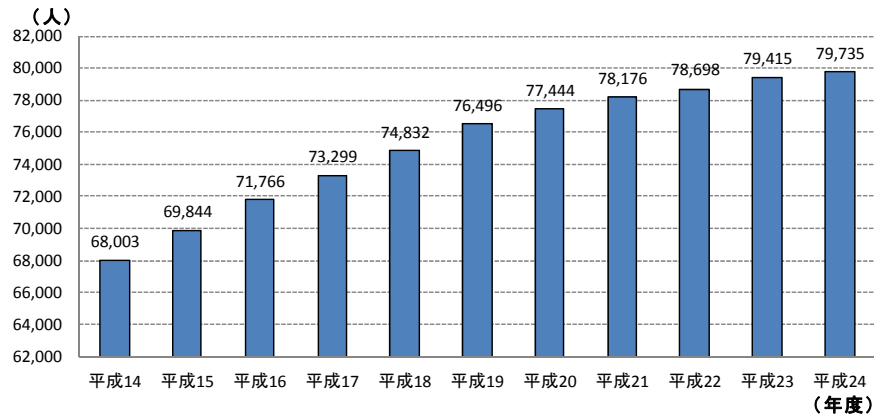


北部地域

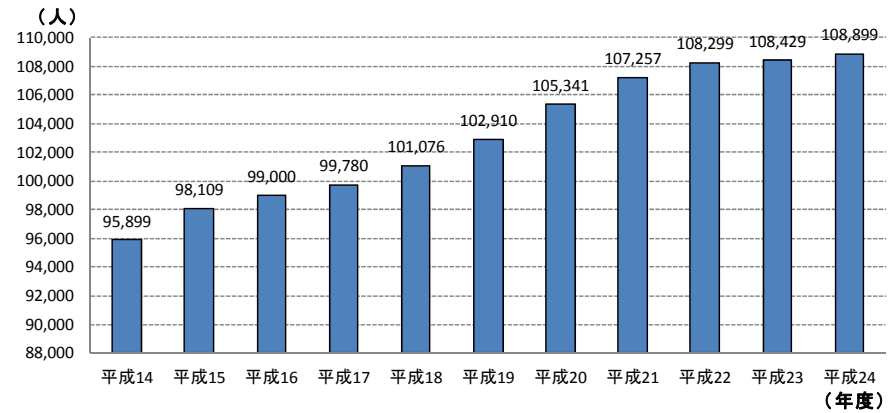


各地域の人口推移②

東南部地域



東部地域

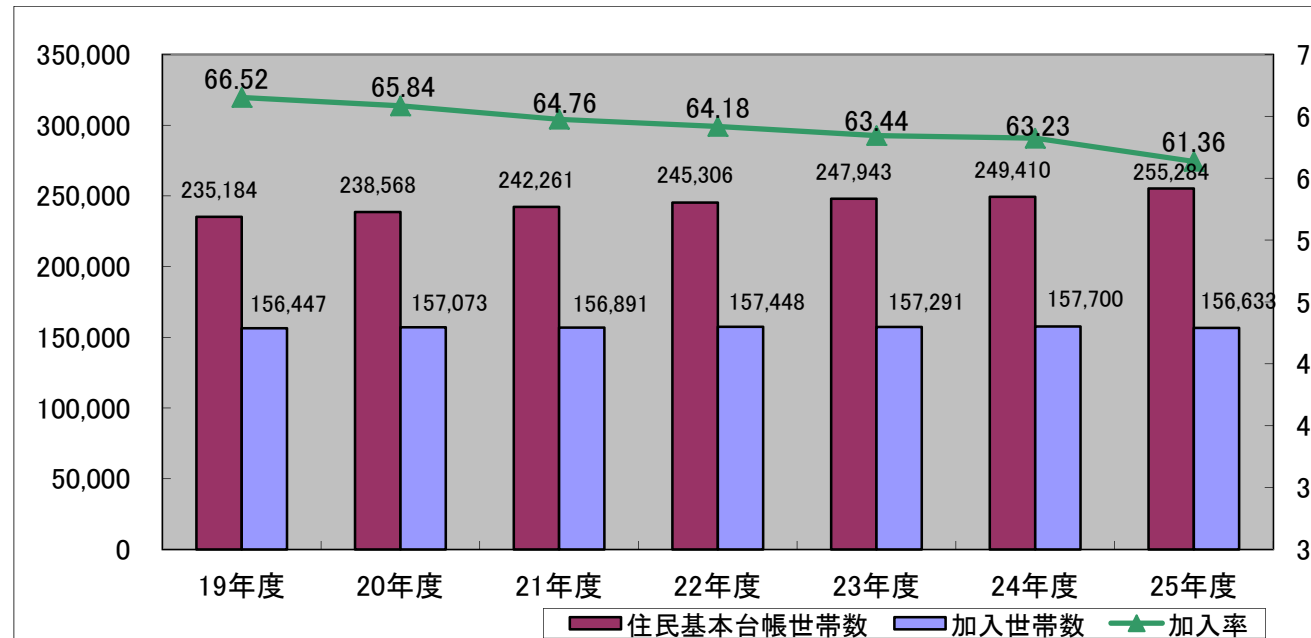


町会・自治会加入率の推移

平成25年6月現在

町会自治会の数	564団体
町会加入世帯数	156,633世帯
加入率	61.36%

※加入率=町会自治会加入世帯数 ÷ 全世帯数 により算出



(参考)

平成19年度 東京市町村自治調査会
による調査結果

自治体名	町会・自治会数
八王子市	556
立川市	176
武蔵野市	-
三鷹市	96
青梅市	178
府中市	394
昭島市	97
調布市	410
町田市	296
小金井市	73
小平市	374
日野市	252
東村山市	307
国分寺市	125
国立市	70
福生市	34
狛江市	25
東大和市	78
清瀬市	192
東久留米市	148
武蔵村山市	55
多摩市	95
稲城市	30
羽村市	39
あきる野市	83
西東京市	-

- ・地域コミュニティの希薄化により町会・自治会の加入率が年々低下している。
- ・地域や近所の人との「つながり」が定住意向に大きな影響を与える。

NPO法人数の推移

八王子市では、まちづくり、環境、教育、福祉、国際交流、文化、スポーツなど、幅広い分野でNPOが自主的に活動しており、法人数も年々増加している。

◆八王子市内のNPO法人数 274法人

法人数の推移



	自治体名	東京都認証	内閣府認証	計
1	八王子市	264	10	274
2	立川市	97	4	101
3	武蔵野市	93	4	97
4	三鷹市	81	3	84
5	青梅市	37	1	38
6	府中市	110	0	110
7	昭島市	19	0	19
8	調布市	97	3	100
9	町田市	185	12	197
10	小金井市	68	0	68
11	小平市	82	18	100
12	日野市	60	3	63
13	東村山市	59	4	63
14	国分寺市	67	2	69
15	国立市	41	2	43
16	福生市	21	1	22
17	狛江市	40	2	42
18	東大和市	34	0	34
19	清瀬市	27	0	27
20	東久留米市	63	1	64
21	武蔵村山市	22	1	23
22	多摩市	87	3	90
23	稲城市	26	2	28
24	羽村市	14	0	14
25	あきる野市	23	0	23
26	西東京市	87	3	90

(H25.11.25現在)

町会・自治会、NPO、市民活動団体等がお互いに連携し、活動の更なる活性化が図られることで、地域における住民のつながりが深まる。

～結びに～

- 他市からの転入者増を図ることも必要であるが、人口減少への対応策の一つとして、大学入学時に本市に転入した大学生に卒業後も、八王子に住み続けてもらうための取組が必要だと考えている。
- また、未就学の乳幼児を持つ子育て層や、若い勤労者世代が長く居住する住居の決定時に、八王子市を選んでもらえるようなまちづくりが重要である。
- そして、高齢者の方に終の棲家として、いつまでも八王子に住みたいと思っただけのような「選ばれ続ける都市」をめざしていく。